

情報文化 学生瓦版

2016年8月23日
第102号

発行	情報文化学科
社主	ファイアウォール
編集	マウス
顧問	寺田マウス
	松村ソケット
	神野インターネット
	八木プロコル
	鈴木エディタ
	山崎エイポート
	重安コネク
	渡邊コンド
	石橋ハード
	海老原ア
	柴田マ
	山下メラ
学生	



行事 情報教育研究会
7月31日(日)に情報教育協会が行われた。毎年行われているディスカッションでは、先生方が「情報」について熱く語って下さった。 2面

第四回情報教育研究会 in 江戸川大学

今年も先生方の新しい出会いを創出!!



平成28年7月31日、江戸川大学駒木キャンパスにて、第四回情報教育研究会が開催された。研究会のテーマは「次世代を担う若者に、情報社会での判断力としての情報モラルや問題解決力を育成する情報教育をどう実現するか」である。実際に現場で取り組まれている高等学校の先生方と研究者と一緒に考えることを目的としている。今回は、教科「情報」の次期学習指導要領改訂に着眼して開催された。

基調講演では、文部科学省教科調査官である鹿野利春先生が「学習指導要領の改訂動向と教科「情報」という題目で、学習指導要領の改訂作業の進捗状況や現在までにまとまっている内容、そして今後の予定などについて講演をしてくださった。

続いて、東京工業大学松田稔樹先生の講演があった。講演の具体的な内容は、松田先生がこのたび学習指導要領改訂でキーワードとなっている「プログラミング教育」を切り口に、これまでのご自身の研究成果をふまえた期待や要望、課題などについての指摘であった。その中では、共通教科「情報」で実際に学ぶ生徒が不在にならないような「プログラミング教育」の充実について厳しい指摘が述べられていた。

その後、休憩をはさんで、情報文化学科長玉田教授から、「生きる力としての問題

解決力を育てるための情報モラル教育」として私立大学情報教育協会を取り組んでいる縦系・横系モデルに基づく情報リテラシー教育カリキュラム案が示された。その中では大学での取り組みの一例として情報文化学科で行われている指導方法や活動が紹介された。次に情報文化学科の山口講師から、情報教育に新しい視点を取り入れるため、宇宙ロケットを題材とした教材開発の提案がなされた。

最後に情報教育で先進的な実践をされている先生方によってパネルディスカッションがおこなわれた。「教科「情報」学習指導要領改訂に向けて期待すること・準備すべきこと」をテーマに、現場で教科「情報」を担当する立場、現職教員研修に関わる立場から、新学習指導要領に向けて期待する



懇親会での新しい出会い

ことを中心に、活発な議論がかわされた。

研究会終了後には、毎年恒例となっている懇親会が開催された。研究会での熱気に負けない熱い議論がここでも行われた。教科「情報」は、まだまだ新しい分野であり、先生方は試行錯誤をしながら取り組んでいらっしゃる。だからこそ積極的で熱を帯びた議論がかわされることで、次世代を担う若者に問題解決力としての情報活用能力の育成をどう実現するかという議論を深めることが大切なのである。そのことを、今回の情報教育研究会でも痛感することができた。貴重な研究会を開催することができたことを、皆様に感謝したい。

(重藤 コネクタ)

情報教育研究会の巻



作：石橋アセンブラ

英語でひとこと 【The environment that surrounds the person is important to bring up the person】

孟母三遷の教えである。「人を取り巻く環境こそ人を育てる」という意味だ。先日、江戸川大学で情報教育研究会が開催され、情報教育を実践されている先生方が生きる力としての情報活用能力をどう育てるかということについて議論を聞かされた。私は、子ども達の情報活用能力を育てるためには、まずは安心して学べる環境と子ども達を育てる指導者が重要だと感じた。情報化が進む世の中で、深みある面白さや、独創する楽しさを伝えながら生きる力としての情報活用能力を育成するためには、「学ぶ環境」と先生方の熱意が本当に大切なのだということを感じた。

(渡邊 ハードディスク)

情声教語

(きょうせい)

今年も夏の恒例行事となっている情報教育研究会が開催された。青少年の情報活用能力をどう育てるかについて、大学の先生方と高等学校の先生方が熱く語り合う会である。今年は次期学習指導要領の改訂がテーマになっていた▼研究会も大変盛り上がり上っていたが、研究会後に行われる懇親会も大変な熱気であった。この懇親会では毎年多くの出会いがあるようである。▼今年も「5名以上の新しい友達を作ってください」という玉田先生の号令の基、首都圏の情報教育で活躍されている校長先生、教頭先生、指導主事の先生、現場の若い先生方が名刺交換をされたり、積極的に歓談をされたりして盛り上がり上がった▼この出会いがきっかけとなって新しい研究に発展したと感謝の言葉を述べられる私学の若い先生もいらした。何事も出会いが大切なのだ痛感した▼江戸川大学が地域の情報教育の拠点となり、情報教育研究会が先生方の大切な出会いの場になっていることを感じられる楽しい会であった。

(寺田 マウス)

今年も熱いディスカッションありがとうございました!!



能城先生 谷川先生 大橋先生 滑川先生 津賀先生 春日井先生

文部科学省
共通教科「情報」
学習指導要領改訂

後援
千葉県高等学校
情報教育部会